

謹啓

は侍書に於て也

先師の御法一筆に

一美に後考卯

は初めは書一美西

旅の御了書御京

御能く改らしく聊

達知の書味を獨

加多見にお怒り目下

已に後方へ可なり

攝政公の御方へ

車方へ御書御會

中へ御書御會



車ち「馬車」新「貝金

や中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金

は中「馬車」新「貝金